



イーハトーブの科学と技術展

森の自然物で遊ぼう！ — 草木遊びとぞうり作り —

8月21・22日イオンモール盛岡にて岩手大学地域連携推進センター主催による「イーハトーブの科学と技術展」が開催され、農学系技術室では自然物を使った遊びと「農」の技術体験をテーマに、草笛作りとぞうり作りのそれぞれを体験できるブースを出展しました。期間中は雨模様の日もありましたが、屋内の会場には沢山のご家族が訪れました。農学系技術室のブースにも、普段あまり目にする事のないぞうり作りの様子や草笛の音に興味を持った多くの子供達と保護者の方々が立ち寄り、明るく賑わう2日間となりました。



ぞうり作り体験は1日3回の受付時間をつくり、各回ごとに6名まで参加者を募って行われました。参加した子供達は、初めてのワラを扱う作業にも一生懸命に取り組み、スタッフや保護者の方にも手助けされつつ完成したぞうりを手に、とても嬉しそうな様子でした。保護者の方でもワラぞうり作りは初体験という方が多く、頑張る子供達の様子を楽しげに見守っていました。



草木遊びのコーナーで草笛の材料に使われたのは「イタドリ」で、草笛を見て材料を質問してくる保護者の方にその写真を見せると、ほとんどの方が「よく見かける」というほど身近な植物です。笛作りは、最初にイタドリの茎を選んで笛の長さに切ってもらいます。慣れない剪定ハサミに苦戦する子も見られましたが、皆思い思いの太さの茎を選び、頑張って切り出していました。



小刀を使う吹き口の加工はスタッフが行い、子供達には吹き口の形に合わせてリードを作ってもらいます。最後にリードを吹き口に挟んで形を整えれば完成です。出来上がった草笛を吹く様子はどの子も楽しそうで、自然の物から自分だけの道具を作る面白さを感じられる体験となったようでした。